

にっしーのイベント報告《電動ろくろ入門講座》第 4 回

初雪も降り、いよいよ冬本番！

毎日寒いですね～(一一〃)

風邪が流行りだしているようですが、みなさんお元気ですか？

今日は 11 月下旬に始まった《電動ろくろ入門講座》の途中経過をレポートします。



今週で講座も 4 回目。

みなさん電動ろくろにも徐々に慣れてきたみたいです。

初回は粘土の練り方と土殺しだけでしたが、4 回目ではもう「ゆのみ」をひく段階にまで進んでいます！

では講座の様子をのぞいてみましょう♪



入門講座では毎回最初に土練りを練習します。

見ていると簡単そうなのに、実際にやるとかなり難しい「菊練り」。

初回は全然できませんでしたが、みなさん少しずつ形になってきています。がんばれ！

次は電動ろくろに粘土を据え付けて、作陶開始！



まず最初に「土殺し」をします。

おお～！とびっくりするぐらい、みなさん上達しています。

最初は全然粘土が上がらず苦労していたのに、スルスルスルときれいに土殺しできてます。

しっかり土殺しできたら、いよいよ「ゆのみ」をひきます。

ゆのみをひく分の粘土を玉の形にして(土取り)、まずは器のもととなる「パイ」(ゆのみを伸ばす前の段階)をひきます。

そして、「バイ」をしっかりと均一の厚さにのばして「ゆのみ」をひきます。

厚さにばらつきがあると、ゆのみがフラフラぶれてきます。



どうしても均一な厚さにするのが難しいみたいで、みなさん苦勞しています。

でも4回目でここまでひけるのはスゴイことですよ！

電動ろくろで作品をひくのはあと4回。

素敵な作品が出来上がるといいですね♪

がんばりましょう！

では次回のレポートをお楽しみに(^o^)/

投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年12月19日 09:07 |

にしーのイベント報告《電動ろくろ入門講座》11/25～、11/27～

急に寒くなってきましたね。

さあ、陶芸教室では今年も《電動ろくろ入門講座》の季節がやってまいりました！

《電動ろくろ入門講座》とは？

福井県陶芸館陶芸教室では通常「手ひねりコース」「絵付けコース」の2種類のコースをしています。

でも、陶芸というとみなさん思い浮かべるのが「電動ろくろ」。テレビなどであつという間に作品をつくる映像を見てると、おもしろそうと思いますよね♪

陶芸教室でもやっぱり電動ろくろがしたいという声が多いのです。

でも、電動ろくろはなかなか初めての方には難しく、職員がつきっきりでサポートしないと作品を作れません。陶芸教室でもなるべくみなさんのご希望に応えようと、年に3回「体験講座」として特別に電動ろくろの体験日を設けています。

でも、体験じゃなくて自分でやってみたい～！という方もたくさんいらっしゃいます。

そこで、毎年冬の時期に全部で12回の《電動ろくろ入門講座》を開催しているんです。



この講座はとっても内容が充実しています。

まず土の練り方から始め、電動ろくろで作品を挽き、削りをして、素焼きした作品に釉掛けをし、窯出し後の手入れまで、全部経験していただきます。

この講座の目標は『自分で電動ろくろを使い陶芸生活を始めてみよう』ということで、講座終了後には自由に電動ろくろを使っての作陶ができるようになってもらいたいと考えています。

では今日は講座の第1回目の様子をレポートします！

今年は『木曜コース』と『土曜コース』があります。

全部で17名の方にお申込みいただきました！（ありがとうございます♪）

第1回目は、まず焼物が出来上がるまでの過程を説明し、陶芸教室の設備も見てくださいました。



窯を見学



釉掛け



釉薬の色見本を見て

焼き物が様々な過程を経て出来上がっていることに感心！

そして自分がそれを全てやるということに、少し不安…。

大丈夫です！みんなで少しずつ進めていきましょう♪

では実習スタート！

まずは土の練り方から。[荒練り][菊練り]2種類の練り方に挑戦します。

[荒練り]とは… 粘土の固さを均一にするための練り方です。

[菊練り]とは… 粘土の中の空気を抜くための練り方です。



最初は粘土の扱い方に慣れていないのでなかなか難しいみたいです。

思い通りにいかず、みなさん汗をかきかき一生懸命！

粘土の練り方も、電動ろくろも急にはコツがつかめないので、焦らず何度も挑戦してみることが大切です。

30分くらい粘土を練っていると、さっきまで寒かったはずなのに、もう体がポカポカです。

結構全身を使う運動ですよ！

さあ、土の準備が出来たら、さっそく電動ろくろを使ってみましょう♪

今日は菊練りした粘土を電動ろくろに据え付けて[土殺し]という作業をします。

[土殺し]とは・・・ 粘土を伸ばしたり、下ろしたりしながら、土の持つ習性を殺して、電動ろくろの回転になじませます。また粘土が電動ろくろの盤の中心で回っているように「芯出し」する作業です。



電動ろくろの上でシュルシュルシュル〜と、粘土を上げ下げするのですが、これも何回かやってみないとコツがつかめません。

焦って力任せにしようとせず、粘土がスッと上がるポイントを見つけることが大切です。

1回目から出来る方はなかなかいらっしゃいませんよ！

電動ろくろは何度も練習していると、少しずつ上達していきますのでゆっくりいきましょう♪

約1時間粘土と向き合い、集中して[土殺し]に取り組みました(^o^)

少しコツがわかってきた方も、全然粘土が思い通りにいかず疲れ切ってしまった方も、これから少しずつ分かってきますので安心して下さい！

電動ろくろは慣れが大切！

この講座が終了するころには……。楽しみですね♪

これから受講生の方たちはどんどん上達していきます(^v^)

また《電動ろくろ入門講座》についてはレポートしますのでお楽しみに！

投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年11月28日 09:07 |

いとうちゃんのイベント報告『越前陶芸村を秋散歩』11/13(土)



遅くなりました。

今日はいっしーに代わりまして、

私いとうがイベント報告したいと思います(^ー^)

すっかり寒くなってきましたね。

みなさま、風邪などはひかれていませんか？

陶芸館の紅葉はいよいよ終盤。

陶芸村の木々たちは、すっかり葉っぱが落ちているものもいたりして、
少し寒そうです。

そんな晩秋の陶芸村で、加藤唐九郎展の特別イベント、

『越前陶芸村を秋散歩 ～越南窯までてくてく歩こう～

クイズラリーをしながら窯探検』を開催しました。

心配していた雨も降らず、

歩くのにはちょうど良いぐらいの天気でした。

参加者は 12 名様。

お越し頂いたみなさま、ほんとうにありがとうございました！

越南窯までの道のりを、途中 10 問のクイズをしたり、

おしゃべりしながら、往復 1 時間、てくてく歩きます。

途中で、当日お出したクイズを、出していきます。

よかったら、答えてみてください☆

では、スタート！



まず、最初に『加藤唐九郎展』の見学です。

加藤唐九郎は、愛知県出身の

昭和の陶芸家で、桃山陶などを作っています。

作るだけでなく、研究も熱心にされている方です。

そんな、加藤唐九郎、福井と縁があったようで、生前に、陶芸村を訪れています。

唐九郎指導のもと、築かれた窯が越南窯です。

そんなつながりがあり、越南窯まで歩くという企画になったんですよ～。

展示は 11/23(火・祝)までとなっております。興味がある方はお早めに！

☆ここでクイズです。

問 1、加藤唐九郎の、

①息子さんも陶芸家である。 ②お嫁さんも陶芸家である。

③生家は窯業を営んでいない。

ヒント: ギャラリートークに来られました。



次は、陶芸館の窯場見学です。

窯場では、陶芸教室での作品を、
焼き上げています。

陶芸館には電気窯があります。

これから見に行く窯とは、大分違うんですよ。

次は、いよいよ陶芸館を出発です。

最初の目的地、陶芸村総合案内所に向かいます。



ここには**越前窯**があります。

この窯に詳しい、

福井県工業技術センターの日向氏に話を聞きます。

この窯は、越南窯と違い、登り窯ではなく、穴窯です。

その違いは、中の構造を見るとわかります。

越前窯の中は一つの広い空間になっています。

両方、薪を使うので、薪窯ですが、

構造により、穴窯や登り窯に分かれます。



まだできて間もないこの窯。

まだ4回しか使用したことがないんですよ。

なので、内もまだきれい。

内に入ることだってできます。

☆ここでクイズです。

問2、越前窯の内で一番高いところは何m？

- ①1m ②1.5m ③3m

ヒント:写真を見て下さい。女の人が丁度入るくらいです。

いろんな質問に答えていただき、日向さんありがとうございました。

さあ、次に向かいましょう。



次は、相ノ木邸です。

相ノ木邸は、江戸時代の庄屋の住宅です。

あの朝倉家とゆかりがあるようですよ。

立派な建物ですね。

中に入りたいのですが、

今日は外から見るだけです。

はい、それではてくてく歩いて、



最終目的地の**越南窯**です。

右の写真はちょっと前の写真なので、

木々が青々してますが、今は紅葉しております。

そんな木々に囲まれた自然の中に越南窯は築かれました。

ここでは、越南窯に詳しい、

越前町の橋本氏に来ていただきました。



唐九郎と一緒に、

洞木の間、ステ間、1の間を

築かれたそうです。

後は唐九郎指導のもと、築いたそうです。

唐九郎は こちらにいるあいだ、

若竹荘に寝泊まりしたそうですよ。



左の写真は越南窯の全体です。

昭和 52 年に築かれ、

たくさん作品を焼き上げています。

なので、

内の壁がガラス状になっています。

たくさんの薪を燃やすことにより、

薪が灰になります。

その灰は作品だけではなく、壁にも降り積もります。

そして、融けて、釉薬状(ガラス状)になり、きれいです。

でも、とがって危ないところもあります。

越前窯と違い、越南窯の内には入らないようにしましょう！

☆それでは、クイズです。

問3、越南窯のお手本はどこ窯でしょう？

- ①、岐阜県多治見 ②愛知県瀬戸 ③岡山県備前

ヒント：唐九郎の出身地と関係があります。

いろいろと気を配っていただき、橋本さんありがとうございました。

それでは、陶芸館までてくてく、てくてく歩きましょう。

帰りは、大きな木を見たり、里山の風景を眺めながら歩きました。

この時期の里山はすごくきれいです。

たまにはてくてく歩くのもいいものですね。

でも、熊さんには要注意です！あと、ハチさんにも！！

陶芸館に戻ってきました。



お疲れさまでした。茶苑でひと休憩。

茶苑の紅葉もきれいです。

一息ついてから、答えあわせです。

正解率は高かったですね。

簡単すぎましたか？(^_^);



全問正解の方には、

ポストカードをプレゼントです。

陶芸館の四季などのポストカードです。



それから、参加賞として、

私、作りました！どんぐりストラップです。

気に入っていただけてたら、うれしいです。

当日、なごやかな雰囲気の中、

イベントを行うことができました。

多方面からの、

たくさんのご協力ありがとうございました。

☆クイズ答え→問1、①。問2、②。問3、②。

長〜い文章にお付き合いありがとうございました。

陶芸教室のご利用もお待ちしています！ いとう

投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年11月18日 09:07 |

「ラテンアメリカのやきものの話」



学芸の小泉です。

11月14日（日）に資料館ロビーにて、11月の月替個展にて展示をいただいているペロ亭賽窯の岩国英子さんによるギャラリートークが行われました。岩国さんの作品のルーツであるラテンアメリカのやきものの話を、所蔵されているペルーの陶片や、現地の作家の作品、写真などを見ながらお聞きしました。

作者の思いを知る機会はありませんので、これからもこういった機会を増やしていきたいと思いました。

投稿者:管理者 | 2010年11月16日 09:07 | [URL](#) |

にしーのイベント報告《茶香炉講座》11/3(祝・文化の日)





急に寒くなりましたね。みなさま体調崩されていないですか？
陶芸村は紅葉も進み、もうそろそろ見頃ですよ！

今日は美しい紅葉を眺めながら、癒しの「茶香炉」を作る講座が陶芸教室で開かれました。



《茶香炉講座》は陶芸館では初めての講座です。
最近じわじわと人気の出ている茶香炉！
茶葉をろうそくの炎で熱するとやさしいお茶の香りがして、リラクゼーション効果があります。
また、お茶に含まれるカテキンには殺菌効果もあるようです。



まず茶香炉の作り方の説明をします。

今回は茶香炉の胴の部分は職員が事前に作り、ちょうどいい硬さに調整しておきました。
胴は土台に好みの穴をあけて、ろうそくの光がやさしく漏れるようにします。

あとは、ろうそくを置く皿と、茶葉を乗せる皿。
2つの皿を粘土で作ります。

職員の作った見本を見ながら、みなさんどのような茶香炉をつくろうか思案中・・・



まずは、胴の部分から。

ろうそくの火がちょうど当たるように高さ 10cm 程度の土台を用意していますので、それに墨でデザインを描いていきます。

そして下書きに合わせて、好みの穴をあけていきます。

みんな自分の好きな模様で作っていきます。



前回の《灯りとり講座》に参加していただいた方が多かったので、穴あけはみなさん上手でした。
恐竜や、お花など皆さんこだわりのデザインです！

胴の部分が出来たら、次は2つのお皿です。
ろうそくのお皿はなるべく平らに。
茶葉を乗せる皿は胴の部分に乗って、丸みを持たせた感じに。

皆さん皿の形にもこだわります (^ u ^)
お花や葉っぱの形の皿もあります。
中にはかわいいネコちゃんのついたお皿も♪

みなさんだんだん形が見えてきました！

そして・・・
茶香炉 完成！！



すごく素敵です！職員も欲しくなっちゃうようなかわいい茶香炉もたくさん♪

焼きあがりがとても楽しみです！



今年の冬はこの茶香炉で「癒し」の時間を過ごして下さい！

投稿者:管理者 | 2010年11月5日 09:07 |

11月の月替個展 ベロ亭賽窯 岩国英子

学芸の小泉です。



資料館ロビーでの月替個展の入替を行いました。

今月の展示はベロ亭賽窯の岩国英子さんの作品を展示しています。ラテンアメリカのやきものに影響を受けた岩国さんの作品を是非この機会にご高覧下さい。

なお当館ミュージアムショップでは展示期間中、氏の作品販売も行っております。御来館の際はぜひ御手に取ってみてください。

なお、月替個展期間中の11月14日(日)の14:00より、岩国英子さんによるギャラリートーク「ラテンアメリカのやきもの話」開催します。是非ご参加ください。

ギャラリートーク「ラテンアメリカのやきもの話」

日時 2010年11月14日(日) 14:00～

場所 福井県陶芸館 1階 ロビー

講師 ベロ亭賽窯 岩国英子氏

定員 10名(要予約)

連絡先 福井県陶芸館 TEL 0778-32-2174

投稿者:管理者 | 2010年11月2日 09:07 |

にっしーのイベント報告《恐竜ランドクイズ大会》10/24(日)

だんだん肌寒い日が増えてきました。

陶芸館では夏休みに子供たちが作った恐竜ランドを見学して、クイズ大会をするイベントが開かれました！



前回ブログにも書いたのですが、《恐竜ランド》は子供たちが一生懸命作った恐竜を全部集めて 5m くらいある大きなジオラマに展示しています。

かっこいい恐竜がいっぱい！

※ 詳しくは「《恐竜ランド》完成！」の回をご覧ください。

今回は県立恐竜博物館から来ていただいた小島さんのお話と、楽しい恐竜クイズです♪

今回のイベントは県立恐竜博物館にご協力いただき、夏休みから今日まで陶芸館の《恐竜ランド》をがんばって作ってきました！

そんな《恐竜ランド》イベントを締めくくるクイズ大会は小島さんのあいさつから始まりました。

みんなワクワクしている様子(^o^)



みんな揃ったら、資料館に移動して《恐竜ランド》を見学します。
迫力あるランドにみんな大喜び！

たくさんの恐竜の中から自分の恐竜を見つけて楽しそう♪



みんなで見学した後は陶芸教室に移動して小島さんのお話を聞きます。



小島さんのお話は

- ・恐竜とはどんな生きものなのかな？
- ・発掘ってどうやってるの？

など、とてもおもしろくて、初めて知ることがいっぱい！

恐竜のお勉強をしたあとは・・・



クイズ大会スタート！！

恐竜に関するクイズです。

ちょっと難しい問題を載せてみましたので、皆さんも考えてみてください。

※答えは一番下です。

①福井県で見つかったフクイラブトルの名前にはどんな意味があるでしょう？

- A ふくいのおおさま
- B ふくい きば
- C ふくい だろぼう

②大人のティラノサウルスの頭からしっぽの先までの長さはどれくらい？

- A 1 m
- B 5 m
- C 15 m

③ティラノサウルスの前足の指の数は何本？

- A 2本
- B 3本

C 5本

④恐竜の歯は何回まで生え変わることができたでしょう？

- A 何回でも
- B 1回まで
- C 3回まで

どうですか？分かりましたか？



クイズは全部で10問ありました。

全問正解者にはプレゼントがあります！



全問正解者は・・・

5名！！

すごいですね。結構難しいクイズだったのですが、やっぱりみんな恐竜大好き！
よく知っています(^_^♪

恐竜クイズ大会に参加してくれた子にはみんなにプレゼントがありました。
県立恐竜博物館から提供していただいたファイルです！



中には恐竜のかっこいいシールや、ぬりえ、切り取って恐竜を組み立てる工作グッズなどなど、盛りだくさんです。

クイズ大会はとても盛り上がり、みなさん楽しんで頂けたようです(^o^)



今日はみんな自分の恐竜を持って帰ります。
自分の恐竜を大切に包み、大事に抱えていました。

みんなの恐竜は、お家でかっこよく飾られるのでしょうか？
それも楽しみですね♪

夏休みから続いてきた《恐竜ランド》は今日で終わりますが、陶芸教室の手ひねり体験コースでは、いつでも恐竜を作ることが出来ます。

自分も作ってみたいという方、ぜひ陶芸教室にお越し下さい♪

【恐竜クイズの答え】

- ① C ② C ③ A ④ A

にっしーのイベント報告《電動ロクロ1日体験講座》10/17(日)

秋晴れの陶芸村。

とっても気持ちのいい日です (^v^)



今日は陶芸教室で《電動ロクロ1日体験講座》が開かれました！

年に3回しかない特別な講座です。

今回も定員いっぱいになりました（ありがとうございます♪）

機会がないとなかなか体験できない電動ロクロですが、1日体験講座では職員がそばにつき、作品を作るサポートをしますので初めての方でもしっかりと作品を残していただけます。

では講座の様子を見てみましょう！

まず、電動ロクロの基本的な使い方を説明します。



最初に粘土を均一に混ぜる「荒練り」と、粘土の中の空気を抜く「菊練り」をします。

ちょっとやってみたい方に菊練り体験していただきましたが、やっぱり初めての方には難しいみたいですね(。・。・;)

そして粘土をろくに据え付け「土殺し」をしてから、作品を作ってみます。

土殺しは粘土の中心を出すことと、しっかりと粘土を締めて、扱いやすい粘土にするためにします。

これが出来ていないと、出来あがったせっかくの作品も底割れしてしまいます！

皆さん初めてなので、集中して見えています。

でも見ているだけではつまらない！

さあ、いよいよ電動ロクロ体験していただきましょう！



まずは土殺しから。

なかなか粘土が上がらず、皆さん悪戦苦闘(+_+)

でも、なんとか作品を作る段階に！

ゆのみや、ご飯茶碗など好きな形を作ります。

粘土があっという間に形を変える様子が皆さんとても面白いようです♪



集中してどんどん作品を作っていきます。

そして・・・

作品完成！！



みなさんすっごく上手でした！

家族全員分のご飯茶碗を作ったり、セットで湯のみを作ったり♪

楽しんで頂けたようです（^u^）

今年度の電動ろくろ1日体験講座は今回で終了ですが、また来年度も実施する予定です！

今回体験できなかった方、ぜひ次回は挑戦してみてください♪

きっと、夢中になりますよ(^o^)

-----★-----★-----★-----

そして、毎年冬に開催している《電動ろくろ入門講座》、申し込みが始まっています。

この入門講座は電動ろくろが初めてという方たちに、粘土の練り方から電動ろくろで作品を作り、削りをして釉掛けをするところまで。全ての工程を体験していただきそして習得していただくという全部で12回の講座です。入門講座終了後は自由に電動ろくろで作品を作ることが出来ますので、興味のある方は福井県陶芸館陶芸教室までお問い合わせください！（TEL 0778-32-2174）

投稿者:管理者 | 2010年10月17日 09:07 |

テーマ展「加藤唐九郎と塚原芥山」

資料館担当の小泉です。



10月4日に常設展示の変更を行いました。

今回、秋の特別展「加藤唐九郎展」開催に合わせ、加藤唐九郎の弟子であり、福井県初の陶芸家と言われる、塚原芥山の作品を展示するとともに、唐九郎の随筆 や塚原芥山が加藤唐九郎に宛てた書簡から、二人の関係に光をあて、広く紹介いたします。是非御来館いただき加藤唐九郎展と併せご覧ください。



投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年10月13日 09:07 | [URL](#) |

月替個展はじまりました。

資料館担当の小泉です。

お知らせするのが遅くなりましたが、福井県陶芸館資料館では2010年9月より、月替わりで県内在住の窯元による個展（小規模ながら）を開催しています。これから随時情報を更新していきたいと思えます。

さて今月、2010年10月は「山田和」氏の展示を行っております。氏独特の赤が眼に映える赫釉の作品も展示されておりますので、是非御来館下さい。なお当館ミュージアムショップでは展示期間中、氏の作品販売も行っております。御来館の際はぜひ御手に取ってみてください。

山田 和 【陶歴】

1954 常滑に生まれる。



1976 大阪芸術大学卒業。

1976 越前に築窯。

1980 丸栄スカイルにて個展。以降隔年開催。

1988 ドイツにて穴窯製作（ヤン・コルヴィッツ陶房）

記録映画「炎より生れる」製作に参加。

1989 ドイツにて作品制作、初窯。

1993 日本橋三越にて個展。以降隔年開催。

1994、1997、2000 大阪高島屋にて個展。

投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年10月13日 09:07 |

《恐竜ランド》完成！！(展示期間 10/13(水)～10/24(日))

こんにちは！にしーです。

すっかり秋らしくなってきたこの頃ですが、皆様お変わりございませんか？

陶芸村では木々も色づき始め、紅葉が始まりつつあります。

そんな中陶芸館では子供たちが楽しみにしていた《恐竜ランド》がついに完成しました！！



この《恐竜ランド》は陶芸教室の夏休み特別イベントとして【恐竜ランドを作ろう！】を開催した時に、子供たちが一生懸命作った恐竜たちを全部集めて展示しています。



(イベント当日の様子はにっしーのイベント報告《恐竜ランドを作ろう!》をご覧ください♪)

集まった恐竜はなんと全部で **54体!!**

この恐竜たちが住む世界を実はすべて**手作り**で職員が作ったんです(^o^)

今回は《恐竜ランド》について詳しくお伝えします。

まずはどのようなジオラマにするか、担当職員は一生懸命考えました。



そして、幅 **5m** もある大きなジオラマを作ることに決定！



そこには海があり川が流れ、そして火山まで！

かなり大きなジオラマになるため、その制作は本当に大変でした(・。・)；



そして資料館ロビーにジオラマを運び、職員みんなで力を合わせて完成させました！

重たい火山を運び、草原を作り、森を作り、そしてきれいな砂浜まで作りました。

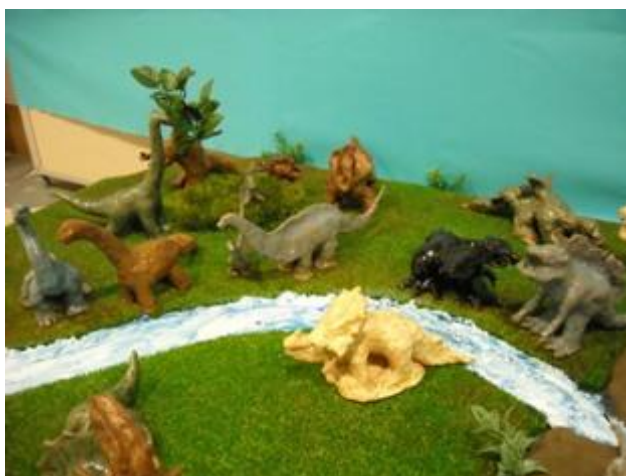
完成した恐竜たちの世界に、みんなの恐竜を一つずつ展示していきます。

みんなに恐竜を作ってもらったときに、自分の恐竜がどのような所に住んでいる恐竜なのか考えてもらったので、それに合わせて場所を決めていきます。

恐竜がたくさんいるので、本当に難しい！

そして…

《恐竜ランド》 完成！！



みんなの夢が詰まった《恐竜ランド》は10/24(日)まで資料館ロビー内にて展示しています。

ロビー内は入館無料ですので、みなさんでお越しください。

かわいい恐竜がたくさんいますので、みなさん是非見に来て下さい♪

そして、今回のイベントでは県立恐竜博物館にご協力をいただいております。

展示最終日の10/24(日)午後1時から、県立恐竜博物館のスタッフの方に来ていただき、みんなの恐竜と一緒に見学した後、恐竜についてのお話をいただいたり、楽しいクイズ大会をします。

このイベントは恐竜を作っていない方も参加できますので、参加ご希望の方は午後1時に陶芸教室に集合して下さい♪

お待ちしております！

投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年10月13日 09:07 |

にしーのイベント報告《灯りとり講座》9月23日(祝)

空気がひんやりと、急に秋らしくなってきた陶芸村です。

もうすぐ幽石庭の木々も色づき始め見事な紅葉が始まりますよ！

さあ、今回の講座は秋にぴったりの《灯りとり講座》です。

この講座は毎年とても人気があるのですが、今年も定員を大幅に上回るご予約をいただきました(^_^)♪



では、講座スタートです！

まずは職員から灯りとりの作り方を説明します。

《灯りとり講座》では、土台となる形を職員が作って用意しています。

灯りとりの場合粘土で形を作ってすぐでは、柔らかすぎて穴をあけることができません。

また、土台に厚みがあると、穴をあけてもなかなかきれいに光がもれません。

そこで、事前に職員が2種類の形を電動ろくろで挽き、ちょうどいい硬さに調節しているのです。



さあ、自分の好きな土台を選んだら、次はデザインを描いていきます。

皆さんにはどのような灯りとりを作るか考えてきていただきました！

お花の模様や、夜空を表現したもの、皆さんとても素敵なデザインです♪

まずは墨で表面に模様を描いていきます。

デザインが描けたら、いよいよ穴をあけます！

「ポンス」という穴をあける為の専用の道具を使い、さまざまな大きさの穴をあけていきます。



なるべく小さな穴をたくさんあける方が光を中に入れた時にきれいなのですが、かなり根気のいる作業です

(-_-;)

皆さん黙々と穴をあけていきます。

作業開始から**約 2 時間**。

とても素敵な灯りとり完成です！！

皆さん本当に素敵な灯りとりが出来上がりました。

お部屋に飾るのがとても楽しみですね ♪ ♪



投稿者:陶芸館スタッフ | 2010 年 9 月 25 日 09:07 |

にしーのイベント報告《恐竜ランドを作ろう！》8/21(土)・22(日)・28(土)・29(日)

毎日暑い日が続いていますが、皆様体調は大丈夫ですか？

今年の夏は本当に暑い！！

そんな暑い夏に、陶芸教室では子供たちがもっと熱くなっている《恐竜》を作る、夏休み特別イベントが開催されました！



今回の講座では県立恐竜博物館にご協力いただき、「フクイラプトル」や「フクイサウルス」の立体模型を特別にお借りしています。1メートルくらいある精巧な模型にみんな釘付けです(@_@)



さあ、どんな恐竜を作ろうか、みんなわくわくしています♪

まずは職員から粘土でどうやって恐竜を作るのか分かりやすく説明します。

恐竜は顔や体、尻尾などを別々に作り、それらのパーツをつなぎ合わせて作ります。

説明を聞いたらいよいよ**恐竜作りスタート！！**

みんな自分の作りたい恐竜が載っている図鑑や絵本を見ながら、一生懸命作っています。



しっかりと恐竜が立つように作るのが意外と難しいんです。

体、尻尾、足・・・まずはしっかりと足元から作っていきます。



別々に作ったパーツをくっつけていきますが、くっつけ方が弱いとポロっと取れてしまうことも(>_<)

みんな泥を塗ってしっかりくっつけて、自分の恐竜を仕上げていきます！



段々恐竜の形が見えてくるとみんなとっても嬉しそう♪

もう少しだ！がんばって♪

そして 完成～！



みんなが作った恐竜たちです！

すごく上手ですね。恐竜たち迫力あります(^o^)

今回のイベントで作って頂いた恐竜は全部集めて資料館に展示します。

ジオラマで恐竜ランドを作り、そこに恐竜たちを飾ります。



(このような感じです)

どんな恐竜ランドが完成するのか楽しみです♪

展示期間は ≪10月13日(火)～10月24日(日)≫ です。

最終日の10月24日(日)には県立恐竜博物館の職員の方にお越しいただき、恐竜についてのお話をさせていただきます。そして楽しいクイズ大会もあります♪

こちらのイベントは恐竜作りのイベントに参加していない方でも、自由に参加していただけます。

ぜひ皆様お越しください！

投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年8月24日 09:07 |

にしーのイベント報告≪夏休み親子とうげい教室≫7月17日～19日

福井も梅雨明け宣言！

すごくきれいな青空が広がっています(^o^)



いよいよ夏本番ですね♪

さあ、夏休み最初のイベントは≪夏休み親子とうげい教室≫です！

夏休みの思い出に、夏休みの宿題に、親子で陶芸体験していただくイベントです。

今回は楽しい親子イベントについてお伝えします♪



今回のイベントは親子で陶芸を体験していただき、やきものについて少し勉強していただけるプチツアーや小冊子がセットになった、夏休みに最適な内容になっています。

陶芸が初めての方もいらして、みなさんどんなことが始まるのかワクワクしているみたいです(^_^)

イベントスタート！

まずは、やきものがどのように出来上がっていくのかを、小冊子や、見本を使いながら解説します。

- 越前の粘土はどんな粘土かな？
- 作った作品はどういうふうに出てくるのかな？
- やきものは出来上がりまでに何回焼くのかな？
- 窯で焼くときは何度くらいで焼くのかな？



などなど、小さなお子様にも分かりやすく説明していきます。

みなさん「なるほど！」という感じ(^u^)

そしていよいよ次は窯場見学です！

ただでさえ暑いのに、窯場はもっと暑いです((+_+))



作品をしっかり乾かして、素焼きをし釉掛けをして、本焼きへ。

窯場では作品がどんどん出来上がる過程を見ることができます。



やきものの仕組みが分かったところでいよいよ**作陶開始**です！！

1kgの土を使い、好きな形をつくっていきます。



大きなお皿を作る子もいれば、ゾウさんを作る子もいます。

みんな一生懸命夢中で作っています！

そして…**完成！！**

みなさんとっても素敵な作品が出来上がりました！

陶芸教室では休館日以外は気軽に陶芸体験をすることができます。

夏休みはぜひ陶芸体験して楽しい思い出作って下さい♪(^o^)

お待ちしております！！

投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年7月18日 09:07 |

夏特別展スタート！

英吉でございます。

数カ月に一度ぐらいしか現れないレアキャラになりつつあります…

それはさておき7月17日(土)から8月29日(日)の会期で夏の特別展が始まります。

今回のタイトルは「越前・有田・七宝 奇跡の三大コレクション展」となっています。

見るからに仰々しいタイトルですが、奇跡とは何が奇跡なのか！？

それはご来館してからのお楽しみとしてください。

展示内容としましては、6月に登録有形文化財に登録された越前焼、1万点を超えるコレクションの中から選りすぐられた有田焼、明治時代の万博などで賞をとりまくった七宝など魅力満載の展示品となっています。

しかも今回は、常設展でも今度の入れ替えはこれまでの陶芸館にはない新しい展示内容になるとかならないとか…

常設展は21日から変わりますのでこちらも楽しみに！

投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年7月16日 09:07 |

にしーのイベント報告 《電動ろくろ1日体験講座》6月20日(日)

なんだかジメジメした毎日で、気分が落ち込んでいますね。

そんな時はみんなで新しいことに挑戦して気分をリフレッシュ！

今日は陶芸教室で1日限定の《電動ろくろ1日体験講座》が開かれました♪

粘土で作品は作った事はあるけれども、電動ろくろは初めてという方がほとんどです。

講座では職員が側につき、しっかりと作品が作れるようにサポートしました。



陶芸教室では通常は「手ひねり体験コース」「絵付け体験コース」の2コースのみで、電動ろくろのコースと
いうのはありません。

電動ろくろの設備は整っていますので、自分で土の準備から全てできる方に設備を時間貸しています。

電動ろくろは、技術が必要なため初めての方の場合職員が付きっきりでサポートしないと、なかなか作品
を作れません。その為普段はあまり体験していただく機会がありませんでした。

そこで、陶芸教室では年に数回(今年度は3回)、初めての方に電動ろくろを体験していただく日をつくっ
ています。

今回の講座は今年2回目の講座でした。

さあ、講座の始まりです！

まずは職員から電動ろくろの使い方の説明です。

まず、「荒練り」「菊練り」と粘土をよく練り、均一で空気がしっかりと抜けた状態にします。

そしてろくろの実演です。

目の前の粘土の塊がスルスルと形を変えていくのを見て、みなさん驚いた様子でした！



一通り説明を聞いたら、いよいよ体験(^o^)/

今回は粘土の準備までは職員が行いましたので、みなさんには電動ろくろを回して粘土を上げ下げする「土殺し」と作品作りをしていただきました。

「さっきの説明の時にはあんなに簡単そうだったのに・・・(汗)」

という声があちらこちらから聞こえてきます。

なかなか土が思うように扱えません(>_<)



みなさん一生懸命土に向き合います。

約2時間、格闘の末みなさん素敵な作品が出来上がりました！！



作品は陶芸教室でお預かりし、職員が作品の仕上げをした後、お客様の好きな色の釉薬を掛けて焼き上げます。

素敵な作品たちが並びます。



作品の焼き上がりが楽しみです♪♪

次回の《電動ろくろ1日体験講座》は10月17日(日)です。

受付は9月14日(火)からですので、興味のある方はぜひ参加してみてください！

投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年6月20日 09:07 |

にっしーのイベント報告 《野焼き》 6月12日(土)

梅雨入り前のすっきりした晴天の下、陶芸村では《野焼き》が実施されました！



先日陶芸教室で行われた《ういちろう先生と土笛を作ろう》のイベントで作って頂いた作品を焼きました。

土笛は全部で60個！！

さて、無事に焼き上がるかドキドキですね(^o^)/



まずは、野焼きの準備です。



トタン板を敷き、ブロックで囲み もみ殻の上に薪を並べます。

薪の上に木の皮などを置き

下にもみ殻をひきます。

その上に土笛たちを置きます。



土笛の上に木の皮を乗せて、薪を表面に組み、木の皮、いよいよ点火式！！
上にもう一度もみ殻をかけます。細い薪を乗せます。たくさんの方が見学に来てくれました！



四隅から火を点けます。勢いよく火が燃え上がります。

火が付いたら、あとは火の勢いを調整しながら2時間焼いていきます。

細い薪や木の皮はとても燃えやすいのですが、もみ殻は燃えにくいので、中はじわじわと燃えていきます。焼き物は急に温度が上がると、割れてしまうので、ゆっくりと温度を上げていきます。

待っている間みんなで焼きイモ作り♪



おいしい焼きイモできるかな！

みんな一生懸命お手伝い♪



土笛たちは中央に眠っています。

その周りで焼きイモ・焼じゃがいも・焼玉ねぎをしました。



じゃーん！焼玉ねぎです。おいしそう(^u^)



ホクホクのお芋おいしい～！！

さて、土笛の方に戻りますと・・・



もうすぐ焼き上がり♪



少しずつ冷ましていきます。



焼き上がりました～！！

一つも割れることなく焼き上がりました。よかった、よかった(^v^)

早速作品を取りに来てくれた方たちと土笛を吹いてみました♪



越前焼の窯元「ベロ亭 賽窯」の岩国英子さんが遊びに来てくれました！



岩国さんがみんなに土笛の吹き方を教えてくれました。とっても上手♪

みんなも頑張って練習します。

とっても暑い一日でした(*_*;)

太陽の暑さと、火の熱さと、大変でした！！

でも素敵な土笛が焼き上がり大満足です♪



みなさん、お疲れさまでした～！

投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年6月13日 09:07 |

にしーのイベント報告《陶芸まつり》5/29・30・31

今日も陶芸村はポカポカ穏やかな1日です。

今回のイベント報告は先週末に開催された《陶芸まつり》についてです。

5月 29(土)・30(日)・31(月) の3日間越前陶芸村において『第30回陶芸まつり』が開催されました。



陶芸館では陶芸まつり期間中「青空絵付け教室」と「電動ろくろ無料体験コーナー」を実施しました。



「青空絵付け教室」



「電動ろくろ無料体験コーナー」

「青空絵付け教室」では、通常の絵付けコースとは違い、絵付け用クレパスを使った絵付けに挑戦していただきました！小さなお子様でも描きやすいので、記念に体験される方が多かったです。



8種類の素焼き品の中から好きな形を選び、絵付け用クレパスを使い自由に絵を描いていきます。

絵付け用クレパスは赤や水色などの色もきれいに出るので、みなさんたくさん色を使って楽しく絵付けをしました。



みんな一生懸命頑張りました！！

焼き上がりが楽しみですね♪ きっと素敵に仕上がりますね。

《電動ろくろ無料体験コーナー》では初めての方はなかなか体験することのできない電動ろくろに触ってみる体験をしていただきました。作品は残せませんが、初めての電動ろくろ体験にみなさん順番待ちでした！



くるくる回るろくろの上にはでっかい粘土の塊。

その塊の中から、器がスルスルうまれてくる感覚はとても面白いですよ！



小さなお子様から年配の方まで、電動ろくろの魅力を体験していただきました。

今年もたくさんの方にお越しいただき、ありがとうございました。

陶芸まつりを楽しんでいただけたでしょうか？

陶芸村はとてもきれいな公園です。

また遊びに来て下さい！

投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年6月3日 09:07 |

にっしーのイベント報告《ういちろう先生と土笛を作ろう!》5/23(日)

みなさんお久しぶりです!

さあ、今回のにっしーのイベント報告は5/23(日)に開催された《ういちろう先生と土笛を作ろう!》です。

今回はイベント名にもあるように、「ういちろう先生」に特別にお越しいただきました。

「ういちろう先生」とは陶芸村内で活動されている、風来窯ういちろう工房の大屋宇一郎さんです!



ういちろう先生は普段はかわいらしいゾウやキリンの焼き物や、あたたかな雰囲気のある器を作っています。オカリナ作りもされています。とても透き通った美しい音色は聞いていると、なんだかこちらまで心が洗われるようです。

そこで、今回はういちろう先生に直接指導していただき、みなさんに土笛を作っていただくということで、イベントを開催しました。



イベントの詳細は [続きへ...](#)

今回のイベントは1日ばかりでした(^.^:)

午前10時に集合し、ういちろう先生から土笛作りのポイントを教えていただきます。



土笛も形によって音が出にくかったり、出やすかったりします。

またあとで中を繰り抜くことを考えて、土笛の形を作ります。



どんな形にするか相談中！



粘土をコロコロころがして好きな形を作ります。

模様をつけたり、はんこを押したりして自分だけの形を作りました！

形ができたなら、中を繰り抜く前に、表面を乾かして形が崩れないようにします。



強力な扇風機を使って一気に乾かします！

乾かしている間に皆さんには資料館の見学をしていただきました。特別展をご覧いただきました。

学芸員の説明に皆さん真剣に聞き入っていましたよ。

~~~~ そして、お昼休憩 ~~~~

午後はお楽しみタイムから始まりました！

ういちろう先生による土笛とオカリナの演奏です♪♪

ういちろう先生が自作の笛で演奏して下さいました。



教室の中に響き渡る土笛・オカリナの音色にみんなうっとり~(^。^)

「でんでんむし」や、「ぞうさん」、「さんぽ」(となりのトトロ)、「ポニョ」などみんな聞きなれた歌ばかりで、子供達は楽しそうに一緒に歌っていました！

素敵な演奏を聴いてみんな**やる気**倍増！！

いよいよ午後の作業開始です。

まずは午前中に作った形を半分に切り、中を繰り抜きます。

この日は雨で湿気があり、なかなか形が乾かず、繰り抜くのも一苦労(汗)



何とか中をきれいに練り抜き、半分に切った形をまた一つに繋ぎ合わせます。

次は口の部分に穴を開け、音が鳴るようにします。

土笛は口の部分の形によって音の出方が全然違います。

なるべく薄く仕上げる方がきれいな音が出やすいです。

なかなか音が出ず皆さん悪戦苦闘！

息の吹きすぎでクラクラしてきます(\*o\*)

ういちろう先生に口の部分を作っていただき、なんとか皆さん音が出るようになりました～♪♪

ういちろう先生のようなきれいな音階のオカリナ・土笛は出来なかったですが、素朴な優しい音の出るオカリナ・土笛が仕上がりました！（よかった！！）



今回はプロの陶芸家の方に直接指導していただくというとても素敵な体験ができたのではないかと思います。またこのような特別なイベントを開催していこうと考えていますので楽しみにしてください！

## お知らせ

イベントで作った土笛は**6月に野焼きで焼きます**。

野焼きで焼いた作品はとっても素朴な雰囲気です。素敵な仕上がりになりますよ♪

野焼きは6/12(日)10:00~の予定です。場所は陶芸村の「越前焼の館」前の広場です。

見学は自由ですので皆さん、ぜひ遊びに来て下さい。

雨天の場合は順延となります。(予備日 6/13(日)、6/19(土) )

野焼きの情報についてはHPのピックアップのコーナーに開催か順延するかを載せますのでご覧ください。

投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年5月26日 09:07 |

---

---

## 春の常設展

資料館担当の小泉です。

4月20日(火)に常設展の入替を行いました。

今回の展示は、「六古窯」、「すり鉢」をテーマに越前焼を展示し、福井県内の越前焼以外のやきものを「福井の諸窯」として展示しています。

六古窯の展示では、越前と、瀬戸、信楽、常滑、備前、丹波の中世から続く6つの窯業地を指し六古窯と言いますが、その6つの産地の代表的な現代作家の作品を展示し、それに加え越前が六古窯に加わるきっかけとな

った、陶磁研究家 小山富士夫の「越前の古窯」が掲載された[陶磁味 第一號]も展示します。



すり鉢の展示では、近年生活スタイルの変化や電気調理器具の普及等で使用が減ってきているすり鉢に光をあて、越前焼のすり鉢の展示と共に、来館された皆様にすり鉢を使った思い出などをお聞かせいただけたらとおもいます。



福井の諸窯では、福井県内に存在する越前焼以外の近世・近代のやきものを展示しています。三国で焼かれた三国焼、足羽山麓で焼かれていた笏谷焼など、同じ時代に作られていたやきものでもそれぞれに個性があり、近世・近代におけるやきもの多様化を見ていただくことができます。

これ以外にも、越前焼の名品を入替展示しておりますのでぜひ御来館下さい。

投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年4月21日 09:07 |

---

## 陶芸館初の文化財

こんにちは！ 英吉です

新登場の挨拶から早2ヶ月…。ご無沙汰してしまいました。

新年度を迎えて心機一転！更新回数をもっと増やせるよう努力します。

早速ですが陶芸館の資料が初めて**国の文化財**に登録されました

その名も「福井県陶磁器資料(水野九右衛門コレクション)」

長年越前焼の研究をしてこられた水野九右衛門(みずのくうえもん)さんが集められた資料が陶芸館に寄贈されて保管されています

これが資料的価値の高さから国の登録有形文化財に登録されました

今、記念の展示が18日まで行われています。通常入場料(大人200円、高校生以下70歳以上無料)で文化財が見れますのでお得ですよ！

それと4月4日(日)にこれに関連した県民講座が行われます。場所は陶芸館の茶苑 大広間で13:30～行われます。こちらは無料ですので地元の貴重な資料を知りたい方はぜひお越しください！

投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年4月2日 09:07 |

---

---

## にしーのイベント報告 ≪電動ろくろ体験コーナー in ショッピングシティ ベル≫

雪もすっかりとけ、陶芸村もだんだん春めいてきました。

陶芸教室の前では梅の花が咲き始めています。



今回はショッピングシティ ベル内で開催したイベント《電動ろくろ体験コーナー》の報告です。

春分の日を挟んで3連休だった3月20日～22日に、ベル内のくらしの地域情報センターのスペースをお借りして電動ろくろの体験コーナーを設置しました。



3連休ということもあり、連日たくさんのお客様にお越しいただきました。ありがとうございます(^o^)

電動ろくろは皆さんテレビなどでご覧になったことがあるのではないのでしょうか？

ろくろの上で粘土があつという間に姿を変える様子に、ビックリされるお客様がたくさんいらっしゃいました。

ほとんどの方が電動ろくろ初体験！！

まず最初に滑りを良くするために、ドベという泥を手につけるのですが、みなさんその滑らかな感触に驚いていらっしゃいました。



そして、粘土をどんどん伸ばして器の形を作るのですが、指で粘土をつまむとスルスルと形が変わり、器の形が出来上がります。

その感覚がとても面白いんですよ♪

子供達も真剣です！



そしてコーナー内に越前の土を100キログラム用意して、自由に粘土遊びができる広場も作りました。

小さな山に見えますが、なんとこれ全部で100kgもあるんですよ！(@\_@)



子供達は粘土の感触を楽しみ、大人の方は童心に返って夢中で粘土を触っていました。

今後も福井県内のイベントに電動ろくろ体験コーナーを開いていきますので、皆様楽しみにしててください♪

投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年3月25日 09:07 |

---

---

## にしーのイベント情報《移動陶芸教室》

皆さん、こんにちは！

今日は立春ですが、陶芸館は久しぶりに雪が積もりました。

寒いですね。皆様風邪には気を付けてください！

さて、今回は先日開催した移動陶芸教室について報告します。

今年度から各施設を訪問し、陶芸体験をしていただく移動陶芸教室を始めました。

今回は福井市の保育園を訪問しました。



卒園記念に、みんなで絵付けをしました。

絵付け用のクレヨンを使って皿に絵付けをするのですが、みんな初めての体験にワクワク♪



絵付け用クレパス

絵付けの説明が終わりいよいよ絵付け開始です！

クレパスでの絵付けなので、みんな描きやすいようです(^u^)

お花を描いたり、キャラクターを描いたり、自分の好きな絵を自由に描いています。



陶芸用はいつも使っているクレパスとはちょっと色合いが違っているので、どういう風に仕上がるか想像しながら絵付けします。

いろいろな色を使ってとてもきれいに絵付けできました。

焼きあがりを楽しみですね！



陶芸教室では今後も移動陶芸教室を開催していきたいと考えております。

詳しくは福井県陶芸館までお問い合わせください。

投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年2月4日 09:07 |

---

---

## 福井にやってきました！

はじめまして！

今月から陶芸館の仲間に入りました「英キチ」です

東の国からやってきたおじさん？です

特別展などを担当しますので、イベント・オモシロ情報をお伝えしていきたいと思っています

福井に住むのは初めてなので新鮮な驚きでいっぱいです

そんな東戎から見た福井の驚きも合わせておしらせしてきます

今後ともよろしく！

投稿者：陶芸館スタッフ | 2010年1月24日 09:07 |

---

## 新春企画展 いもじ焼・三代展

資料館担当の小泉です。

遅くなりましたが、あけましておめでとうございます。

本年も福井県陶芸館をよろしく願いいたします。

さて、福井県陶芸館では資料館2F特別展示室にて新春企画展「いもじ焼・三代展」を開催中です。

福井県敦賀市の鋳物師にて昭和の初めから陶芸を始め、棟方志功・荒川豊蔵ら一流の芸術家と交流を続けた、いもじ焼の喜多村作太郎氏。作太郎氏から陶芸を学び、喜多村家伝統の貝釉を使った茶碗を作る午郎氏。午郎

氏より厳しい指導を受けている朋太氏のいもじ焼三代の作品約40点と、交流のあった文化人との書簡を展示し、広くいもじ焼を紹介させていただきます。ぜひ足をお運びください。



新春企画展 港町敦賀が育んだ 「いもじ焼・三代展」

開催期間 平成22年1月9日(土)～1月31日(日)

開催時間 午前9時～午後5時(最終入館は午後4時30分)

会期中休館日 1月12日(火)、1月18日(月)、1月25日(月)

投稿者:陶芸館スタッフ | 2010年1月16日 09:07 |

---